

東総広域水道企業団笹川浄水場における汚泥の放射線量の測定結果について
(第69報)

東総広域水道企業団では、笹川浄水場の浄水処理過程で生じる汚泥について、5月26日にサンプリングを行い放射線量を測定しましたので、その結果についてお知らせします。

1 測定結果

(1) 平成23年3月11日以前の発生汚泥

| 採取日 | 項 | 目 | 笹川浄水場 |
|-------|---------|--------|------------|
| 5月26日 | 放射性ヨウ素 | I-131 | 不検出 |
| | | Cs-134 | 16.9 Bq/kg |
| | 放射性セシウム | Cs-137 | 25.3 Bq/kg |
| | | 合計 | 42.2 Bq/kg |

(2) 平成23年3月11日以後の発生汚泥

| 採取日 | 項 | 目 | 笹川浄水場 |
|-------|---------|--------|------------|
| 5月26日 | 放射性ヨウ素 | I-131 | 14.1 Bq/kg |
| | | Cs-134 | 131 Bq/kg |
| | 放射性セシウム | Cs-137 | 158 Bq/kg |
| | | 合計 | 289 Bq/kg |

(3) 水道水については、4月12日以降、放射性物質が不検出の状況となっておりますので、安心して飲用等にご利用ください。

2 今後の対応

例年、浄水場で発生した汚泥については、場内で天日乾燥した後、中間処分してセメントの副原料として処分しています。今後、関係機関と協議したうえで、取扱いを検討していきます。

また、今後の測定結果についてはホームページに掲載します。